

|   |   |   |                          |                  |                           |
|---|---|---|--------------------------|------------------|---------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 1 草間彌生《Yellow Dots》1986年 | 2 鏝嘔《ライト兄弟》1976年 | 3 山田正亮《Work E.p 464》1984年 |
| 4 | 5 | 6 | 4 篠田桃紅《銀》                | 5 木村希八《猫》1979年   | 6 大沢昌助《地平線》1976年          |
| 7 | 8 | 9 | 7 平山郁夫《東の彩》1983年         | 8 木葉井悦子《象》1992年  | 9 片岡球子《富士》                |

刷り師、コレクター、そして画家。

# 木村希八 さんの贈り物

2017年1月28日(土) ▶ 3月5日(日)

休館日：月曜日（※1月30日は開館）

開館時間：9:30～18:00（※観覧券の販売は17:30まで）

観覧料：一般600円（500円）／大学生・高校生400円（300円）／中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体・リピーター割引料金（半券提示で2回目は団体料金に割引）

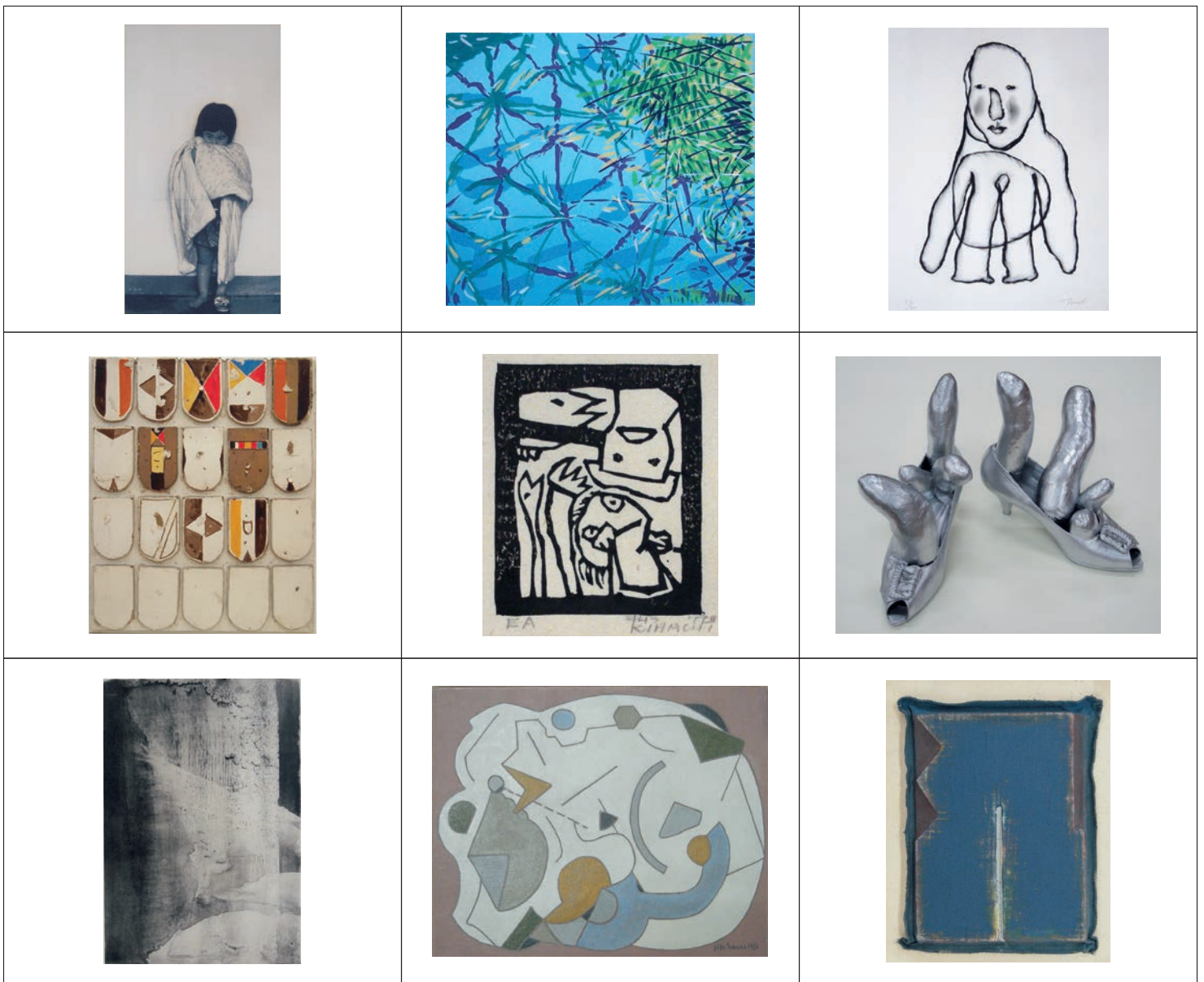
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料（受付でご提示ください）

主催：新潟市美術館

後援：南魚沼市教育委員会、新潟市教育委員会、新潟市小中学校PTA連合会



新潟市美術館  
Niigata City Art Museum



|   |   |   |                            |                                 |                       |
|---|---|---|----------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 | 1 野田哲也《日記 1977年8月10日》1977年 | 2 横尾忠則《BOTANICAL GARDEN I》1981年 | 3 緑川俊一《人-15》2000年     |
| 4 | 5 | 6 | 4 磯辺行久《Work 62-83》1962年    | 5 木村希八《作品》1973年                 | 6 草間彌生《銀の靴》2005年      |
| 7 | 8 | 9 | 7 木村希八《雪風》1994年            | 8 嶋田しづ《冬木立の中のビル》1982年           | 9 野田裕示《Work 437》1988年 |

1934年新潟県南魚沼市（旧塩沢町）に生まれた木村希八は、独学で各種版画に取り組み、1959年鎌倉市で石版画工房を開設。以来、わが国における特にリトグラフの刷り師の草分け的な存在として、半世紀以上にわたり活躍を続けました。その基本姿勢は、商業主義的な「複製版画（エスタンプ）」を善しとせず、一貫して作家と刷り師との信頼関係、協働から生まれるオリジナル版画の制作にこだわる、というものでした。

木村の卓越した刷りによって世に送り出された版画は、平山郁夫や加山又造、片岡球子ら日本画壇の重鎮から、草間彌生、篠田桃紅、齋藤など現代美術界の俊英たちのものまで広範に及び、手元には、刷り師の保存用に作られるP.P.版という非売扱いの版画が多く蓄積されていきました。それらを有効に活用してほしいという篤志によって、新潟市美術館への寄贈が始まったのは1988年からのことです。

2014年11月、木村は80年の生涯を閉じますが、生前の遺志により新たに374点の作品が当館に寄贈されました。木村は自身も画家であり、また旺盛なコレクターでもありましたが、今回の寄贈には、それらの作品も数多く含まれています。本展は累計941点を数える当館所蔵の「木村希八コレクション」から、刷り師、コレクター、画家の三つの視点で展示構成し、故人の業績を振り返ります。

### 関連事業

- ①2月11日(土) 講演会「木村希八さんの思い出Ⅰ」土方明司氏（平塚市美術館館長代理）
- ②2月25日(土) 講演会「木村希八さんの思い出Ⅱ」皆川徳志氏（版画家）
- ※いずれも14:00から①美術館講堂 ②美術館実習室にて（参加無料／事前申込み不要）
- ③担当学芸員によるギャラリートーク 2月26日を除く会期中の日曜日
- ※14:00から企画展示室にて（当日の観覧券が必要です）

### 同時開催の展覧会

コレクション展Ⅲ「光を想う」1月2日(月)～4月2日(日)

### その他のイベント

※詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください  
 3月5日(日)・19日(日) 実技講座「彫る・摺る・みる 多色刷木版画教室」  
 3月12日(日)まで Lounge N きままプログラム「ハン de ボン」

### 新潟美術館の展覧会

「新潟の院展作家たち」2月4日(土)～3月20日(月・祝) TEL.0250-25-1300

### 交通のご案内

#### ▶タクシーで

新潟駅万代口から約10分

#### ▶自動車で

1: [高速道路] 日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

2: 国道8号線(新潟バイパス) 紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

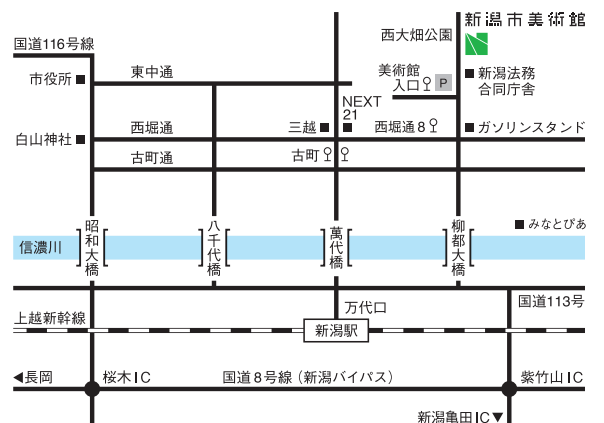
#### ▶バスで 新潟駅万代口バスターミナルから

A: [観光循環バス] 乗車約30分→バス停「新潟市美術館入口」下車→徒歩3分

B: [C6八千代線] 乗車約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩5分

C: [B1 萬代橋ライン(BRT)など] 乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩12分

※Cが最も便数が多いです。  
 ※古町から[C6八千代線]または[C5西堀通線]入船営業所行きにも乗り継ぎできます。



**新潟市美術館** 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
 TEL.025-223-1622 / FAX.025-228-3051  
 E-MAIL: museum@city.niigata.lg.jp  
 www.ncam.jp/